



令和元年度

# 中学生議会

8月9日、市議会議場で「令和元年度中学生議会」が開催され、市内各中学校から生徒が参加しました。牛久市の将来を担う若者たちから市政に対する鋭い質問が投げかけられ、市長および教育長が答弁しました。質問と答弁の内容について、概要を紹介します。

問 教育企画課☎内線3091

## 茨城国体開催に伴う牛久市のPR活動について



たなべ ほなみさん  
(下根中学校3年)

PR動画を見ましたが、他に市の魅力を発信するイベントは実施していますか。また市には観光地や農作物などの名産品等、魅力的なものがたくさんありますが、推したいものは何ですか。

**教育長答弁**▶ カウントダウンボードの設置や市のオリジナルウェアを市民、職員が着用しています。か

っば祭りでは炬火集火式を行い、「牛久の火」を誕生させました。また、市にはうしく河童西瓜やうしく河童大根などの特産品がありますが、やはり一押しは「牛久大仏」です。茨城国体には県内外から多くの方が訪れるため、市を知ってもらう絶好の機会ととらえ、さらなるPRに努めていきます。

## 牛久シャトーの運営について



かわじり しんのすけ  
川尻 真之佑さん  
(牛久第二中学校2年)

桜まつり以降のイベント開催がなく「包括連携協定」が更新できなくなってしまうかもしれません。これからの牛久シャトーはどうなっていくのですか。

**市長答弁**▶ 市と牛久シャトーの所有会社は3月に包括協定を締結し桜まつりを開催しました。7月

には市が牛久シャトー全体を有償で借り受けることで基本合意し、市が牛久シャトーの存続について直接関わりを持つことができるようになりました。今後は所有会社と話し合いをしながら、課題を一つひとつ解決していきます。

## 全教室へのモニター導入について



あそう なつ  
麻生 菜摘さん  
(牛久南中学校3年)

映像資料があると、さまざまな映像や写真を見ることができ、より授業に興味をもち主体的に取り組むことができます。従って特別教室を含めた全教室へのモニター導入を希望します。

**教育長答弁**▶ 市内小中学校には順次モニターを導入してきました。夏休みには小1・2、中3クラスに導入

され、これにより全普通教室へモニターが設置されることとなります。また、中学校にはプロジェクタが導入されており、特別教室などでモニター同様の活用ができると考えています。今後はタブレットパソコン台数増やLAN環境整備を進めるとともに効果的な授業を作っていきます。

## 牛久市の知名度を高めるPR活動について



ひとみ けんた  
人見 健太さん  
(牛久第一中学校3年)

現在SNSなどの発達で広く情報を伝えることができます。市がPRするために行っている活動は何ですか。また今後どのような活動を行っていきますか。

**市長答弁**▶ 市ではSNSを使ってイベント情報などを発信しており、登録者も増えています。それ以外に

もホームページも効果的なPR手段として活用しています。また新聞や報道機関に市の情報を取り上げてもらうために記者会見を開催。さらに直接PRするために、「ふるさと回帰フェア」への参加や市主催のイベント「ウシクリスマスフェスタ」を開催し、市の魅力発信をしています。

## 部活動時間の確保について



ふじい れい  
藤井 玲さん  
(牛久第一中学校3年)

部活動時間の短縮は技術の習得や他学年との交流や先生との関わりを学ぶ機会が減ります。その対策はありますか。部活動時間の確保は可能ですか。

**教育長答弁**▶国は成長期にある皆さんの心や体のことを考え、部活動時間の短縮を提案しました。それに伴い市も休養時間などを設けた部活動の運営方針を決めました。一方、練習に必要な時間を確保するために、多くの学校が複数顧問制を取り、部活動が行えるようにしていたり、皆さんに質の高い練習ができるよう、市では専門的な指導員に部活動の支援をしていただいたりすることなどを進めています。今後も地域の指導者などの協力を得て、さらに部活動の充実に力を入れていきます。

## 高齢者運転免許証返納後の交通手段について



やまもと さやか  
山本 彩さん  
(下根中学校3年)

高齢者運転免許自主返納支援制度でのかっぱ号乗車券贈呈の効果と、返納を視野に入れていない方に積極的に返納してもらうためにどのようなことをしていますか。

**市長答弁**▶支援制度利用率は平成30年は返納者の66%となっており、利用者からも「助かっている」との声が聞かれます。また返納のきっかけづくりとして小坂団地を除く奥野地区に住んでいる方が市内のさまざまなところに行ける公共交通空白地有償運送、また高齢者を買物や病院に連れていくボランティア移送サービスがあります。今後も高齢者の方々が暮らしやすいまちを目指します。

## 義務教育学校について



みやた りつ  
宮田 律さん  
(牛久第二中学校2年)

奥野小と牛久二中が義務教育学校になると聞きました。どのような学校になり、どのようなメリットがあるのでしょうか。

**教育長答弁**▶良い点は9年間を通しての学びが継続され、特色ある教育が強化されます。例えば5年生から中学校校舎で学ぶとすると5年生から「教科担任制」で教科の先生から学ぶことができ、部活動の練習への参加も可能となります。これは牛久市初の義務教育学校です。新しい学校の誕生に期待していただき、新しい学校の歴史を創り、キャンパスライフを存分に楽しんでほしいと思います。

## 夜間の人通りの少ない地域における安全確保について

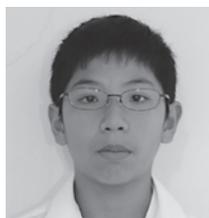


やすかわ あい  
安川 碧さん  
(牛久第三中学校2年)

市民満足度調査の充実してほしい施策で最も回答が多かったのが「夜間や人通りの少ない地域における安全確保」でした。これを受けて市はどのようなことをしていますか。また私たちにできることはありますか。

**市長答弁**▶夜間に道路を照らす防犯灯を行政区の要望のもとに設置し、事件・事故の抑止や映像を記録するため防犯カメラの設置を警察と連携を図りながら進めています。また、かっぱメールでも不審者情報などを配信しています。このように市では市民が安全に安心して暮らせるよう取り組んでいます。皆さんにおいては「110番の家」など、いざというときに助けを求められる場所を確認しておいてください。

## 牛久市の文化や歴史の継承について



ほった まさとし  
堀田 真敏さん  
(牛久第三中学校2年)

市の文化や歴史をどのように次の世代に継承していきますか。また市外や県外の方にどのように広めていくか教えてください。

**教育長答弁**▶昨年度は市ゆかりの先人たちの特別展を開催しました。また、現在は住井すゑの書斎等を記念館として整備する準備を進めています。さらに「牛久市文化財ガイドブック」の配布、小川芋銭作品や市内で発掘された土器などの常設展示に加え、広報紙やホームページで文化財を紹介しています。今後も文化や歴史を継承する取り組みを進めていきます。

## 駅ビルの活用について



こばやし だいき  
小林 大輝さん  
(牛久南中学校3年)

駅ビル活用に提案です。それは「子どものための教室」「カフェなど」「駅直結の駐車場」「学生が勉強、大人が仕事をできる場所」を作ることです。今後は駅ビルをどのように利用していきますか。

**市長答弁**▶これまでは食品スーパーとフィットネスジムの誘致に成功しています。今も物販業に限らず、さまざまな業種を対象とした店舗誘致を行っています。「エスカード牛久」を自立した商業店舗としていくためにはさまざまなアイデアが必要です。市はいただいた提案や、市民、各団体からの意見を聞きながら、住みよいまちとなるよう取り組んでいきます。